

2022年9月

関係者各位
プレスリリース

特定非営利活動法人美術保存修復センター横浜
横浜市中区弥生町2-15-1
ストークタワー大通公園Ⅲ#703
TEL 045-231-6006 FAX 045-489-4987
Email yokohama@npo-acrc.org
理事長 大西章夫

画家の思い継承を目指して - 時を超えて伝える - 絵画修復プロジェクト

第二回 大佛次郎記念館所蔵 版画5作品

修復作品

今回のプロジェクトでは、大佛次郎記念館が所蔵している、素描画家ポール・ルヌアール(Charles Paul Renouard)の版画5作品を修復します。

■「伸び上がる白猫」1907年 ■「フロンド紙」1899年 ■「ラボリ弁護士の一連のしぐさ」1899年 3点

【ポール・ルヌアール(Charles Paul Renouard) : 1845-1924】

ポール・ルヌアールは、19世紀末から20世紀初頭にかけて活躍したフランスの画家です。又、ルポルターージュの素描家としても人気を博していました。まだ報道写真が希少だった当時、取材現場の情景を鋭くスケッチし、版画で表現する描写力や芸術性が、高い評価を得ています。大佛次郎が300以上に及ぶポール・ルヌアール版画を入手した経緯などはわかっていませんが、大佛次郎のフランス4部作*のうち『ドレフェュス事件』(1930)、『ブーランジュ将軍の悲劇』(1936)はルヌアール版画と同じ題材を扱っており、大佛次郎が彼の作品に惹かれた動機の一つが想像できます。又、今回の修復作品には、北斎漫画を参照したと思われる、「伸びあがる白猫」も含まれます。大の猫好き、大佛次郎の愛蔵品として領けます。

*上記2作品に『パナマ事件』(1960)、『パリ燃ゆ』(1964)を加えた史伝4作品

展示会情報

「大佛次郎 美術の楽しみ -大佛次郎記念館コレクションより-」
2023年1月6日(金)～4月16日(日)
このプロジェクトの紹介と共に修復後の上記5作品を展示いたします。

修復進行

日程 2022年9月頃より 修復完了は2022年12月末を予定しております。
作業場所 特定非営利活動法人美術保存修復センター横浜
〒231-6006 横浜市中区弥生町2-15-1 ストークタワー大通公園Ⅲ#703
修復作業者 特定非営利活動法人美術保存修復センター横浜

【特定非営利活動法人美術保存修復センター横浜】

青木絵画修復工房を前身に2011年特定非営利活動法人美術保存修復センター横浜を設立。

以降、多くの個人様、又各種企業様よりのご依頼により美術保存修復、保存修復文化の継承に取り組む。又、修復士育成の為、横浜絵画修復教室を開講し、文化保存の啓発に勤めている。

日本のみならず、毎年イタリア・フィレンツェへ出向き最新の修復技術の習得や実際の仕事を通し文化保存への取り組みを進展させている。

問い合わせ先

*寄付は常時募集しております。

特定非営利活動法人美術保存修復センター横浜
〒231-6006 横浜市中区弥生町2-15-1
ストークタワー大通公園Ⅲ#703
TEL 045-231-6006 FAX 045-489-4987
Email yokohama@npo-acrc.org
URL <http://www.npo-acrc.org/index.html>
担当 : 内藤朝子

大佛次郎記念館
〒231-0862 横浜市中区山手町113
TEL 045-622-5002
URL <http://osaragi.yafjp.org>
担当 : 安川篤子

